

## 2 学年学習指導案

- 1 題材名 思いや意図をもって表情豊かに合唱しよう  
教材名 「時の旅人」
- 2 題材について

### 《学習指導要領とのかかわり》

- |             |                                                                             |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------|
| A 表現 (1) 歌唱 | ア 歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること                           |
|             | イ (イ) 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり                                          |
|             | ウ (イ) 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること |
| [共通事項]      | ア 音色、速度、旋律、強弱、テクスチャ                                                         |

### (1) 題材観

SNSやインターネットの普及により、多様な音楽が個人で手軽に楽しめるようになった。その反面、人と人とのコミュニケーションが希薄になってきているのではないかと感じている。仲間と共に音楽を楽しむことに価値を見出し、互いに息を合わせ一緒に歌うことで、人の温かみを感じ、歌詞に同じ想いを馳せることで豊かな表現力を身につけさせたい。

本題材は新学習指導要領のA表現(1)歌唱「歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること」イ(イ)「声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり」ウ(イ)「創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくること」に関する学習内容である。ねらいは、歌詞と音楽を形づくっている要素と関連させ、思いや意図を持って曲想豊かに合唱することである。普段考えていることは違っても、学級で合唱する時は、歌詞の内容を考えて、息を合わせて合唱することで、思いや意図をもって、歌詞が伝わる歌に仕上がっていくのではないだろうか。合唱コンクールでは、各クラスそれぞれが、楽譜から読み取った歌詞やメロディをもとに、クラスの色合いを合唱に乗せられるように支援していきたい。そのため、パート練習などの学習活動を通して言葉の抑揚や語感を大切に、生徒自らの思いや意図を大切に学習活動につなげていきたい。〔共通事項〕の内容を糸口とし、1年生で音程や音量、発声の仕方を学び、2年生ではさらに発展させ、曲の場面や移り変わりの表現を工夫した合唱にしたい。一人一人が歌詞の内容を考え、自分の心情とも重ね合わせ、思いや意図を持って表情豊かに表現させていきたいと考え、本題材を設定した。本題材では、言葉のもつ語感やフレーズを生かし、場面の構成を知覚しながら、合唱全体のまとまりを工夫することで合唱の面白さや醍醐味を味わわせたい。

### (2) 指導観

『時の旅人』は、本校の合唱コンクール2学年の課題曲である。1990年に発表され、深田じゅんこ作詞、橋本祥路作曲の混声三部合唱である。橋本祥路は「時は瞬く間に過ぎてしまいます。私たちは何気なく過ごしている間にも時は立ち止まることなく過去を作っています。」語っていることから、過去から未来への時の流れを歌詞から読み取り作曲している。どの生徒にも共感できる歌詞から、この楽曲は多くの学校で親しまれている。

この楽曲は大きく4つの場面に分かれており、冒頭のへ長調で始まるメロディはユニゾンで上

向し、強弱は *f* が記されていて、ダイナミックに楽曲が始まる。次に現れる場面は、平行調の二短調に続く下降する伴奏から、アルトの16分音符主体の語るようなメロディに続く。その後、同主調の二長調へ転調し男声の力強いメロディへと続き、最後は下屬調のト長調へ転調し優しいメロディで締めくくる。激しく移り変わるそれぞれの場面を感じ取り、歌詞の情景が伝わる合唱をめざしたい。

本題材では、場面が大きく変わる個所が多く、声の重なりやフレーズや息の使い方を工夫することにより、音楽表現の向上をねらいとしている。そして、言葉のもつ語感やフレーズを生かし、場面の構成を知覚しながら、合唱全体のまとまりを工夫することで合唱の面白さに気付かせたい。

### 3 題材の目標 曲の特徴を生かして曲想を工夫しよう

### 4 題材の評価規準及び学習活動の評価規準

ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽表現の創意工夫	ウ 音楽表現の技能
声部の役割(音楽の構造におけるそれぞれの声部が果たしている役目など)と全体の響きとかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組んでいる。	音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、声部の役割と全体の響きとかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。	声部の役割と全体の響きとかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能(発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など)を身に付けて歌っている。

### 5 研究の視点

#### 【視点2】音楽的な見方・考え方を働かせるための効果的な指導の手立て

生徒が、音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的に学びに向かうための発問の工夫やワークシートに意識してほしい要素を明記し、掲示物等で可視化することで効果的な手立てとなるのではないかと考えた。

- 生徒が課題を見つけるための発問「パートの役割や旋律の音の動きを生かした歌い方にするには、どんな工夫が必要だろうか。工夫点を3つ以上探そう」
- ワークシートに明記する要素「音色、強弱、他の声部とかかわり、主旋律、副旋律、オブリガード、ユニゾン、かけあい」

### 6 題材の指導計画及び評価計画 (7時間扱い) (本時4/7時間)

	○学習内容 ・主な学習活動	評価規準
1 2	ねらい：歌詞の内容を理解し、言葉のまとまりに気をつけながら、自分のパートの旋律を把握する。	声部の役割(音楽の構造におけるそれぞれの声部が果たしている役目など)と全体の響きとかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組んでいる。(音楽への関心・意欲・態度)
	○歌詞を読んで、詞の内容を理解する。 ・CDを聴きながら楽譜の縦書きの歌詞を朗読する。 ・全体で言葉のまとまりを確認する。 ○CDを聴きながら全体の構成をつかむ。 ・歌詞のブロックの変化に着目して聴く。 ○音程とリズムをつかむ。 ・パートにわかれて練習する。	
3 4 5 (本時)	ねらい：歌詞の内容を考え、音の重なり、強弱、構成を工夫して、自分たちの合唱をつくる。	音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成)を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気
	○音の重なり、強弱、構成、声部の役割、言葉の抑揚やアクセントに着目し、表現を工夫する。	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各場面にふさわしい表現の工夫を考える。</li> </ul> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>A</b>～<b>B</b> 声の音色、曲にふさわしい強弱（3時）</li> <li>・<b>C</b>～<b>D</b> 他声部とのかかわり、主旋律・副旋律・オブリガード（4時）</li> <li>・<b>E</b>～<b>F</b> 音色、かけあい、ハーモニー</li> <li>・<b>G</b> 音色、かけあい、強弱（5時）</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○音楽を形づくっている要素に着目し、練習する。</li> <li>・パートごとに自分たちで考えた練習する。</li> <li>○グループで聴きあい、互いに確認する。</li> <li>○全体で合わせて、響きを感じながら合唱する。</li> <li>・表現が足りないところは、教師主導で補充練習をする</li> <li>・振り返りをする。</li> </ul>	<p>気を感じながら、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。（音楽表現の創意工夫）</p> <p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能（発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など）を身に付けて歌っている（音楽表現の技能）</p>
6 5 7	<p>ねらい：思いや意図が伝わる表現を工夫してまとまりのある合唱をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全体で歌詞の内容、言葉のまとまりを意識して歌う。</li> <li>・休符・発音・強調する言葉・抑揚・ブレスを意識して練習する。</li> <li>○合唱コンクールに向けて、よりよい音楽表現に向けて練り上げる。</li> <li>○クラスで課題を共有し、練習方法を工夫する。</li> <li>○最後に合わせる。</li> </ul>	<p>声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な技能（発声、言葉の発音、呼吸法、身体の使い方、読譜の仕方など）を身に付けて歌っている（音楽表現の技能）</p>

7 本時の目標（4／7）

(1) 本時の目標

声部の役割や旋律の音の動きを理解して合唱しよう。

(2) 展開

時配	学習内容と学習活動	○教師のかかわり ◆評価規準（評価方法）
5分	1 常時活動 今日の目を	○自分たちの発声法や姿勢を確認させる。 ○明るくのびやかに歌わせる
5分	2 本時の目標を確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>声部の役割や旋律の音の動きを生かした歌い方をみつけよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の課題を踏まえて、1度</li> <li>○前回行ったA、Bの工夫点を意識させる。</li> </ul>

10分	<p>全体で合わせる。</p> <p>3 C～Dにふさわしい表現の工夫を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントや掲示されたキーワードを参考に工夫点を個人で考える。</li> <li>・パートごとに意見を交換し、パート練習の方法をまとめる。</li> <li>・練習内容をホワイトボードに書き、掲示する。</li> </ul>	<p>○本日、表現の工夫を考えて練習する部分は、C、Dであることを伝え、今の自分たちの実態を把握するよう助言する。</p> <p>&lt;発問&gt;</p> <p>「パートの役割や旋律の音の動きを生かした歌い方にするには、どんな工夫が必要だろうか。工夫点を3つ以上探そう」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・C～Dは、前後の音の動きに着目し、キーワード（他の声部とのかかわり、主旋律、副旋律、オブリガード）を手がかりとするよう助言する。</li> </ul> <p>&lt;予想される生徒の考え&gt;</p> <p>「アルトが主旋律だから目立つように歌う」</p> <p>「ソプラノは歌詞がないので他のパートが引き立つように歌う。」</p> <p>「男声はアルトと同じなのでアルトの音を聴き合わせて歌う。」など</p> <p>○机間指導し、意見がまとまらないパートは、それぞれの意見をまとめ、具体的な練習方法を見つけられるよう助言する。</p> <p>○それぞれのパートの練習内容を全体で共有するよう促す。</p>
10分	<p>4 パート練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パートごとにC～Dまで自分たちで考えた方法で練習する。</li> </ul> <p>(工夫する点)</p> <p>【音色】発音、発声</p> <p>【旋律】音のつながり方 旋律線のもつ方向性</p> <p>【構成】主旋律、副旋律 オブリガード</p>	<p>○全てのパートの状況を確認し、進度が遅れているパートには教師もグループ練習に参加し、助言する。</p> <p>丸パート内で一緒にリズムや音の動きの例を示すことにより、音色の変化や構成などを知覚しながら生徒ができるように支援を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆音楽を形づくっている要素（音色、旋律、構成）を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。（音楽表現の創意工夫）</p> </div>
10分	<p>5 2グループに分かれて合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで聴きあい、工夫点を確認する。</li> <li>・お互い、気づいた点を発表する。</li> </ul>	<p>○生徒の思いや意図を極力くみ取り、それが生かせるようにアドバイスをする。</p> <p>○他の声部とのかかわり、主旋律、副旋律、オブリガードに工夫がみられる場面をいくつか取り上げ、なぜ良かったのかを全体で共有する。</p>
5分	<p>6 全体で合唱する。</p>	<p>○表現が足りないところは、教師主導で補充練習する</p> <p>○今日の練習内容を振り返り、声部の役割や旋律の音の動きを生かした歌い方ができているかお互いの声をよく聴いて評価させる。</p>
5分	<p>7 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・この時間の成果をプリントに記入する。</li> <li>・次回の学習に向けての課題をワークシートに記入する。</li> </ul>	<p>○今回の授業で見られた工夫を全員で共有する。その際に、声部の役割や旋律の音の動きの変容に助言を行い、次回につなげる。</p>

# 合唱ワークシート 曲名 課題曲「時の旅人」

年 組 番号 名前

ねらい 歌詞の内容を考え、音の重なり、強弱、構成を工夫して自分たちの合唱をつくろう

今日の目標

A B の部分 キーワード

声の音色、曲にふさわしい強弱、

<工夫点>

自分の考え

( ) パートの考え

<振り返り> できたことや次回の課題を書こう

今日の目標

C D の部分 キーワード

他の声部とのかかわり、主旋律、副旋律、オブリガード

<工夫点>

自分の考え

( ) パートの考え

<振り返り> できたことや次回の課題を書こう

ねらい 歌詞の内容を考え、音の重なり、強弱、構成を工夫して自分たちの合唱をつくろう

今日の目標

E F の部分

キーワード

音色、かけあい、ハーモニー

<工夫点>

自分の考え

( ) パートの考え

<振り返り> できたことや次回の課題を書こう

今日の目標

G の部分

キーワード

音色、かけ合い、強弱

<工夫点>

自分の考え

( ) パートの考え

<振り返り> できたことや次回の課題を書こう